

特集

1号 総合診療の“夜明け”

—キーマンが語り尽くした「来し方、行く末」

巻頭緊急企画

明日はどちらだ？「総合診療専門医」

地域という「場」の中で ▶ 朝倉健太郎 6

中小病院や地方でしか学べぬものも ▶ 上田剛士 7

総合診療医は患者さんに必要とされているか？
▶ 大野每子 8

外科医の総合診療 ▶ 北 和也 9

外部環境に左右されるプログラムとされないプログラム ▶ 齊藤裕之 10

明日は“ウィメンズヘルス”だ！「総合診療専門医」
▶ 西村真紀 11

小規模自治体の公的診療所より ▶ 山田康介 12

荒涼とした大地に芽は出るのか。それでも、耕し種をまこう。 ▶ 山田哲也 13

最新情報！「総合診療専門医」の未来予想図
▶ 松村真司 14

【座談会】

1980年代|臨床研修指導医派遣制度と家庭医に関する懇談会 “家庭医構想”の光と影
▶ 福井次矢・木戸友幸・伴 信太郎・松村真司 221990年代|総合診療の勃興期と、その発展のジレンマ “病院総合医”の来た道、行く道
▶ 松村理司・伊藤澄信・箕輪良行・徳田安春 342000年代|3学会合併と日本プライマリ・ケア連合学会の発足
家庭医+病院総合医=日本独自の新たなジェネラリスト像
▶ 津田 司・小泉俊三・前沢政次・藤沼康樹 482010年代|総合診療、未来へ
新たな挑戦は、もう始まっている！
▶ 北野夕佳・平島 修・宮内亮輔・富田詩織・山中克郎 60

【座談会を終えて】

固く閉ざされた扉を開くには ▶ 松村真司 75

“医の倫理”3つを叶える選択を ▶ 徳田安春 75

ジェネラリストの必然的再統合の時が来た
▶ 藤沼康樹 75多様な総合診療医像と、その活躍のために
▶ 山中克郎 75

2号 The 総合診療ベーシックス

—白熱！「総合診療フェス in OKINAWA」ライブ・レクチャー！— 挙公開

【イントロダクション】 148

「総合診療フェス in OKINAWA」開会宣言！—なぜ沖縄が“総合診療のメッカ”なのか？
▶ 藤田次郎

【ライブ・レクチャー ① 師匠に弟子がインタビュ—】 149

“臨床の神様”宮城征四郎先生のヒストリー徹底解剖！ ▶ 宮城征四郎・徳田安春

【ライブ・レクチャー ② Dr. 山中のライブ指導！】 158
めざせ！問診の達人！—「攻める問診」と「キーワードから鑑別診断を展開する！」トレーニング問題付 ▶ 山中克郎【ライブ・レクチャー ③ Dr. 徳田のフィジカル指導！】 166
秘伝！「胸部」診察法—フィジカル実演デモ“動画”付 ▶ 徳田安春【ライブ・レクチャー ④ Dr. 山中のフィジカル指導！】 178
秘伝！「腹部」診察法—フィジカル実演デモ“動画”付 ▶ 山中克郎【ライブ・レクチャー ⑤ ケースカンファレンス—沖縄の研修医から症例呈示が！】 187
過換気なめるべからず!! ▶ 米内 竜【ライブ・レクチャー ⑥ ケースカンファレンス—沖縄の研修医から症例呈示が！】 199
麻痺の原因は、高価なチーズ？ ▶ 花井翔悟【ライブ・レクチャー ⑦ スペシャル座談会！】 210
臨床医としての実力をどう維持・向上させるか？—その“秘訣”を伝授します！
▶ 宮城征四郎・藤田次郎・徳田安春・山中克郎

3号 これがホントに必要な薬40

—総合診療医の外来自家薬籠

【総論】

適正な薬物療法とは何か？—プライマリ・ケアにおいてどのように処方集を構成すべきか
▶ 植田真一郎 288「自家薬籠の薬」をどのように選択したか
▶ 藤沼康樹 297

【総合診療医の薬40選】

▼呼吸器疾患治療薬 ▶ 喜瀬守人

フルチカゾン 302

チオトロピウム 303

▼抗アレルギー薬 ▶ 清田実穂

フェキソフェナジン 304

エビネフリン注 305

ブレドニゾロン	306
▼神経疾患治療薬 ▶泉水信一郎	
スマトリブタン (成人)	307
▼解熱・消炎・鎮痛薬 ▶金子 惇	
アセトアミノフェン (成人)	308
アセトアミノフェン (小児)	309
イブプロフェン	310
モルヒネ塩酸塩	311
▼抗けいれん薬 ▶石川美緒	
バルプロ酸	312
▼抗菌薬・抗ウイルス薬 ▶町野亜古・高木 博	
バラシクロビル	313
アモキシシリン (成人)	314
アモキシシリン (小児)	315
アジスロマイシン	316
レボフロキサシン	317
セフトリアキソン注	318
▼血液疾患治療薬 ▶増山由紀子	
クエン酸第一鉄ナトリウム	319
▼循環器疾患治療薬 ▶永田拓也・重島祐介	
ワルファリン	320
エナラプリル	321
アムロジピン	322
トリクロルメチアジド	323
フロセミド	324
カルベジロール	325
アスピリン	326
▼消化器疾患治療薬 ▶関口由希公	
オメプラゾール	327
▼泌尿器疾患治療薬 ▶関口由希公	
プロピベリン	328
▼向精神薬 ▶坂戸慶一郎	
セルトラリン	329
リスベリドン	330
アルプラゾラム	331
▼代謝疾患治療薬 ▶青木拓也	
メトホルミン	332
インスリン グラルギン	333
アトルバスタチン	334
▼漢方薬 ▶樫尾明彦	
麻子仁丸	335
芍薬甘草湯	336
▼代用食 ▶齋木啓子	
エンシュア・リキッド®	337
▼外用剤 ▶堀越 健	
ベタメタゾン吉草酸エステル (外用)	338
テルビナフィン (外用)	339

白色ワセリン	340
ケトプロフェン (貼付)	341

【スペシャル・アーティクル】

CaseとQ&Aで学ぶ「ジェネリック医薬品」 ▶水 八寿裕	343
----------------------------------	-----

4号 病歴と診察で診断できない発熱！ —その謎の賢い解き方を伝授します。

【総論】

とはいえ、基本は病歴と身体所見！

原因不明の発熱の原因と、やってはいけないこと ▶岸田直樹	416
---------------------------------	-----

原因不明の発熱！ 追加したい問診とは？ ▶山中克郎	420
------------------------------	-----

原因不明の発熱！ 追加したい身体所見とは？ ▶平島 修	424
--------------------------------	-----

【各論】

さて、この検査をしよう！

現行犯逮捕か？ 状況証拠での逮捕か？—培養・塗抹・抗原検出・核酸PCR検査 ▶成田 雅	429
---	-----

ESR対CRPの決着は？—ESR・CPR・プロカルシトニン・白血球 ▶忽那賢志	434
---	-----

「この検査のおかげで助かりました！」というのがあります—非特異的検査が特異的検査に変身する時 ▶大野城太郎	438
---	-----

この画像検査をオーダーしてもOKでしょうか？—CTとMRIを中心に ▶入江隆介・隈丸加奈子	443
---	-----

人を見たら結核と思え！—結核は、忘れた頃にやってくる ▶血谷 健	448
----------------------------------	-----

病理診断を依頼する時と、病理報告書を読む時の留意点は？ ▶知念克也	453
-----------------------------------	-----

感染症以外の疾患の見抜き方① ▶西垂水和睦	458
-----------------------	-----

感染症以外の疾患の見抜き方② ▶國松淳和	463
----------------------	-----

【座談会】

こんな原因もあった！本当は怖い発熱—貴重な体験物語でレア原因Caseを語る！ ▶大野城太郎・血谷 健・知念克也・西垂水和睦・徳田安春 (司会)	467
--	-----

5号 コミュニケーションを処方する —ユマニチュードもオープンダイアログも入ってます！

【理論編】

患者・医師間のコミュニケーション その作用の背景とエビデンス ▶本田美和子	568
---------------------------------------	-----

「患者に共感する」とは、どういうことか ▶尾藤誠司	572
------------------------------	-----

【実践編】

「総合診療外来」でよくあるコミュニケーション不全とその対応 ▶横谷省治	576
-------------------------------------	-----

「総合診療病棟」でよくあるコミュニケーション不全とその対応 ▶鄭 東孝	581
-------------------------------------	-----

オープンダイアログが拓く「対話」の地平 ▶斎藤 環	587
------------------------------	-----

医師のためのユマニチュード—マルチモーダル・コミュニケーションの理論と実践 ▶本田美和子	593
--	-----

総合診療医の技能を際立てる 認知症「総合ツール」としてのユマニチュード ▶ 今村昌幹	600
心理学からみたユマニチュード ▶ 吉川左紀子	603
「がん治療・緩和ケア」を必要とする患者とのコミュニケーション ▶ 田中桂子	604
「人生の最終段階」の支援のためのコミュニケーション―アドバンス・ケア・プランニングを始めよう ▶ 山田康博・森川日出男	609
【スペシャル・アーティクル】	
人工知能技術が紐解くコミュニケーション・ケア 認知症ケアを高度化する「見立て」と「学びの環境」▶ 竹林洋一・上野秀樹・石川翔吾	615
医療コミュニケーションにおける人工知能の可能性 医師の「五感」をも定量化できる時代へ ▶ 中澤篤志	621
【コラム】	
患者の経験から考えるコミュニケーション	
先生と僕の“フラフラ飛行”「躁うつ病」の体験から ▶ 坂口恭平	624
医師も患者も幸せになる3つの提案「レビー小体病」の体験から ▶ 樋口直美	626
看護師の経験から考えるコミュニケーション	
認知機能が低下した患者から発せられる「不同意メッセージ」のとらえ方とその対応 ▶ 伊東美緒	628
6号 「地域を診る医者」最強の養成法！	
【総論】	
総合診療医はなぜ「地域を診る医者」なのか？ ▶ 草場鉄周	714
【各論：実況中継！】	
診断推論に強くなる！ ① 問診と身体所見を重視する「院内症例カンファレンス」▶ 水間悟氏	718
診断推論に強くなる！ ② 疾患のステージに沿った総合力を鍛える！「すわ家セッション」▶ 小澤廣記・山中克郎	723
整形外科に強くなる！ 西伊豆健育会病院での院外研修 ▶ 小平のり子	729
ベッドサイドティーチングはすごい！ 院外講師を招く ▶ 森川 暢・上田剛士	734
地域のシームレスな医療に強くなる！ ① 在宅医療 ▶ 高木宏明	738
地域のシームレスな医療に強くなる！ ② 緩和ケア ▶ 大中俊宏	742
地域のシームレスな医療に強くなる！ ③ 診療所 ▶ 安藤親男	746
地域のシームレスな医療に強くなる！ ④ 離島 ▶ 平島 修	750
「地域を診る医者」ただいま養成中！ ① THE RESIDENT CIRCLE 不識庵（上越・糸魚川地域グループ）▶ 山岸文範	760
「地域を診る医者」ただいま養成中！ ② 沖縄県立宮古病院―ケースカンファレンス実況中継！ ▶ 杉田周一	765
【コラム】	
全国の勉強会を紹介！	

① FACE : Fukushima Advanced Course by Experts (福島) ▶ 宗像源之	754
② 野獣クラブ (Facebook勉強会) ▶ 小野正博	756
③ 21世紀 適々斎塾 (大阪) ▶ 板金 広	757
④ 大阪どまんなか (大阪) ▶ 山本晴香・清田敦子	758
⑤ コロッケ会 (鹿児島) ▶ 西垂水和隆	759
地域医療の実践	
① 多職種連携 諏訪中央病院の多職種研修の内容と、医師に期待すること ▶ 山岸紀子	772
② 訪問看護 ▶ 小林美恵子	774
③ リハビリテーション ▶ 濱 一広	776
7号 感染症を病歴と診察だけで診断する！ <カリスマ編>Part3	
【総論】	
System 1の鍛え方とその後 ▶ 志水太郎	864
System 2の磨き方 ▶ 忽那賢志	869
【各論】	
System 1 電光石火の感染症 snap diagnosis	
心疾患は聴診！ではなく、まず視診と触診！ ▶ 藤本卓司	874
「かぜかなあ」って思ってたら…… ▶ 徳田安春	878
その耳鼻科医の熱は ▶ 岩田健太郎	881
豚骨ラーメンは、やっぱり死ぬほど美味しい！ ▶ 清田雅智	886
電話口から見えた疾患 歴史は繰り返す！ ▶ 皿谷 健	892
「どこも異常ないんですよ〜」▶ 北野夕佳	896
System 2 理詰めで追い詰める感染症	
連携で解明！手ごわい発熱 ▶ 矢野晴美	903
高い代償 ▶ 山中克郎	906
やはり、こうなるからには理由がある。 ▶ 横江正道	912
セックスと嘘とアノスコープ ▶ 井戸田一郎	917
システムエラー ▶ 亀井三博	922
オバケとアレが見えたら……お手上げです。 ▶ 川島篤志	927
8号 見逃しやすい 内分泌疾患 ―このキーワード、この所見で診断する！	
【総論】	
日常診療で出会う内分泌疾患 ▶ 大塚文男	1022
【Case series 1 病歴と診察で突き止める！】	
久々に会ったら顔立ちが変わっていた？ ▶ 高野幸路	1025
ドキドキしすぎ？ ▶ 水野朋子・大野洋介・田中祐司	1029
認知症でしょうか？ ▶ 橋本貢士	1032
とにかくすぐく疲れる！ ▶ 池谷 章・沖 隆	1036
生理が不順で胸もおかしい？ ▶ 西山 充	1040
急に喉がカラカラで！ ▶ 宮田 崇・有馬 寛	1044

【Case series 2 ロジカルに迫り確定診断を導く!】	
高血圧+低K血症 ▶岡本将英・柴田洋孝	1048
発作性高血圧+発汗異常 ▶田辺晶代	1052
肥満+糖尿病 ▶方波見卓行・山本雄太郎・松原史明	1056
下垂体疾患+脂肪肝・NASH ▶高橋 裕	1061
尿路結石+高Ca血症 ▶野津雅和・山内美香・杉本利嗣	1065
肥満+多毛 ▶柳瀬敏彦	1068
【スペシャル・アーティクル】	
小児における内分泌疾患 成長障害をきたす小児の診かた ▶原田大輔・難波範行	1072
【コラム Endocrinology in Generalist Medicine】	
①低血糖のハンドリングは? ▶泉山 肇	1077
②低Na血症がわかったら? ▶清水 力	1078
③低リン血症を見つけたら ▶福本誠二	1079
④薬かもしれない、低K血症 ▶宗 友厚	1080
⑤そのACTHは、本当に下垂体から? ▶蔭山和則	1081
⑥甲状腺クリーゼを疑う時は? ▶井町仁美・村尾孝児	1082
⑦副腎不全を疑う時は? ▶大月道夫	1083
⑧下垂体刺激試験の必要性は? ▶岩崎泰正	1084
⑨ひょっとしたらMEN? ▶森田浩之	1085
⑩男性更年期って? ▶永井 敦	1086
⑪甲状腺疾患の人が妊娠したら ▶横田敏彦	1087
9号 うつより多い「不安」の診かた —患者も医師も安らぎたい	
【診断編】	
誰もが感じる「不安」と病的な「不安症」の違いとは?—プライマリ・ケア医の守備範囲 ▶野村総一郎	1168
「不安」を身体診察でアセスメントできるか? ▶上田剛士	1172
プライマリ・ケアにおける「不安」の評価法 ▶木村勝智	1177
【治療編】	
ベンゾジアゼピン系薬に頼らない! 「不安」に対する薬物療法 ▶宮内倫也	1182
プライマリ・ケア医にもできる! 「不安」に対する精神療法 ▶今村弥生	1188
【実際編+誌上メンタリング】	
シーン1 “一般外来”で診る心配性な人々 「飲んではいけなくて、週刊誌に書かれてました。薬を飲むのも、やめるのも不安です」 ▶小田倉弘典	1193
誌上メンタリング1 全般不安症/全般性不安障害 ▶内藤 宏	1197
シーン2 不安を打ち消すための行為や儀式に縛られている人々 「自分でもばかばかしいと思うことが、やめられない、止まらない」 ▶宮崎 仁	1198

誌上メンタリング2 強迫症/強迫性障害 ▶阿瀬川孝治	1201
シーン3 “救急”で診る不安 「バリキャリ風の若い女性が過換気で…。きっとパニック症だね!」 ▶田中博之	1202
誌上メンタリング3 パニック症/パニック障害 ▶北村吉宏	1206
シーン4 日常生活に潜むトラウマ体験 「いくら調べても原因不明の身体症状、もしかして…」 ▶井出広幸	1207
誌上メンタリング4 トラウマとPTSD ▶仁木啓介	1210
シーン5 “子育て”の不安を支える 「乳幼児健診で、発達に問題があるかもしれないと言われた。私の育て方が間違ってるの…?」 ▶田辺佳代子	1214
誌上メンタリング5 “子育て”における不安 ▶樋端佑樹	1220
シーン6 “緩和ケア”で遭遇する患者/家族の不安 「私、まだ麻薬を使うには早いと思うの。あれは、最後に使う薬なんですよ?」「おまえら、いったいどういう治療をしているんだ!」 ▶新城拓也	1221
誌上メンタリング6 “緩和ケア”における不安 ▶栗原幸江	1225
【医師の不安への処方箋】	
自分の“内なる声”を聴く 不安を受け止め、味わい、そして手放すために ▶宮崎 仁	1226
difficult patientへの「不安」や「否定的感情」をポジティブにとらえて成長の契機とする ▶宮田靖志	1230
「間違っているかもしれない自分」への不安にどう対処するか? ▶尾藤誠司	1234
10号 めまいがするんです!	
【総論】	
めまいの分類は間違いだらけ? ▶上田剛士	1308
【BPPV】	
まずは後半規管型BPPVを診断・治療できるようになろう! ▶石田恵梨	1312
意外に多い外側半規管型BPPV—半規管結石症(向地性眼振タイプ) ▶重野浩一郎	1317
悩ましい外側(水平)半規管型BPPV(背地性眼振タイプ) ▶山中敏彰	1323
え? まさか! BPPV診療の落とし穴 ▶城倉 健	1330
【起立性低血圧】	
本当に頭位性ですか? ▶西口 潤	1334
【前庭神経炎・脳血管障害】	
「めまい=画像検査」になっていませんか? 中枢性めまい診断におけるHINTSの重要性と施行上のビットフォール ▶新藤 晋	1338
【メニエール病・TIA】	
繰り返していても「メニエール病」とは限らない 総合診療医からみたメニエール病 ▶高岸勝繁	1347
【片頭痛】	
えっ? そんなに多いの!? 片頭痛によるめまい ▶土肥栄祐	1354

【頸性めまい】	
ちゃんと理解しよう! 頸性めまい ▶ 入野宏昭	1358
【対談 エビデンス付!】	
本当に効くの?! めまいの薬 ▶ 上田剛士・高岸勝繁	1364
【コラム めまい小咄】	
① それ、本当に突発性難聴?! ▶ 高岸勝繁	1345
② 幽霊に突き飛ばされた? ▶ 上田剛士	1353
③ 「phobic postural vertigo」は誰もが経験している? ▶ 上田剛士	1362
11号 今そこにある、ファミリー・バイオレンス —Violence and Health	
【総論】	
「健康問題」としてのファミリー・バイオレンス—これは「総合診療」の問題だ ▶ 小崎真規子	1470
ファミリー・バイオレンスの臨床社会学—「家族システム」に暴力を発生させる「社会的要因」「文化」への視点を ▶ 井上眞理子	1474
グローバルな健康問題としての暴力—暴力を「予防」する国際戦略からの示唆 ▶ 井上真智子	1479
【パートナーから含むDV】	
「救急 (ER)」でDVを見逃さないために—2つのパターンとその対応 ▶ 安田冬彦	1483
「プライマリ・ケア外来」でもDVを見逃すな!—家庭医としてできること ▶ 森屋淳子	1488
【子ども虐待】	
「救急 (ER)」で子ども虐待を見逃さないために—診療医の気づきが“救命”につながる ▶ 岩田賢太郎・伊原崇晃	1492
「プライマリ・ケア外来」でも子ども虐待を見逃すな!—「家族をすべて診る」という視点で ▶ 高村昭輝	1498
【高齢者虐待】	
「在宅」における高齢者虐待を見逃さないために—必然的な「見逃し」を生むメカニズム ▶ 椿 恒雄	1502
【被害者支援】	
ファミリー・バイオレンス被害者への支援—“縦割り”の介入をつなぐソーシャルワークとネットワーク ▶ 須藤八千代	1507
これだけは知っておきたい—虐待防止法のしくみと、臨床医に求められること ▶ 野村武司	1511
【スペシャル・アーティクル】	
「訪問看護師」が利用者・家族から受ける暴力—兵庫県における実態調査の結果から ▶ 林 千冬・今岡まなみ・藤田 愛・山崎和代・遠藤理恵・花井理紗	1516
訪問看護師が利用者・家族から受けた事例と地域・行政ぐるみの取り組みへの発展 ▶ 藤田 愛	1520
医療現場・職場における「ハラスメント」—医療者⇄患者・家族、医療者⇄医療者 ▶ 保坂 隆	1523
「救急 (ER)」で生じるさまざまな暴力の予防と対策—“暴れる患者”に組織で向き合う ▶ 林 実・林 寛之	1529

医療現場における「クレーム」を読み解く—多目 1534 標準理論モデルに基づく“診断”と“治療” ▶ 杉本なおみ	
--	--

12号 | 小児診療“苦手”克服!! —劇的Before & After

【座談会】	
なぜ子どもが苦手?—総合診療医が小児診療に自信をつけるには ▶ 北西史直・高村昭輝・町野亜古・西村真紀	1616

【総論】	
総合診療医に小児を診てほしい理由—小児科医からのメッセージ ▶ 高村昭輝	1627

【“匠”を目指すための9つのワザ】	
① 身体診察 (内科系) ▶ 野村あかり	1631
② 身体診察 (外科系・整形外科系・皮膚科系) と手技 ▶ 遠井敬大	1636
③ 救急 ▶ 土肥直樹・茂木恒俊	1640
④ 問診とコミュニケーション ▶ 武者幸樹子	1644
⑤ 予防接種 ▶ 中山久仁子	1648
⑥ 乳幼児健診 ▶ 清田実穂	1653
⑦ 子育て相談 ▶ 岩間秀幸	1657
⑧ 母乳育児・離乳食の相談 ▶ 金 弘子	1662
⑨ 子育て世代の家族のケア ▶ 本郷舞依	1667

【コラム：小児診療トピックス】	
子どもが集まる診療所づくり—8つのポイント ▶ 北西史直	1672
総合診療医の小児科診療研修を考える ▶ 町野亜古	1674

連載

以下、() は号数

Editorial	
“新しい夜明け”に向かって ▶ 松村真司	2 (1)
沖縄の風に吹かれて—ジェネラリストの役割を考える ▶ 山中克郎・徳田安春	137 (2)
地域における困難事例と医師 ▶ 藤沼康樹	277 (3)
“ピストルアプローチ”のすすめ ▶ 徳田安春	405 (4)
「技術」としてのコミュニケーションを考える ▶ 本田美和子	565 (5)
“New Era”を妄想する ▶ 山中克郎	711 (6)
“ゴッドファーザー”による日本最高の教科書 ▶ 志水太郎・忽那賢志	861 (7)
Endocrinology in Generalist Medicine」の世界へ、ようこそ! ▶ 片岡仁美・大塚文男	1019 (8)
診療所の外来で2番目に多いのは? ▶ 宮崎 仁	1153 (9)
“めまい”に目を回さないために ▶ 上田剛士	1299 (10)
「病院総合医」と「家庭医」の規範的統合 ▶ 藤沼康樹	1447 (11)

“子ども、苦手ですか?” 私もそうでした ▶西村真紀	1605 (12)
What's your diagnosis?	
第169回: 思わぬところに鑑別診断 ▶桂木賢太郎・後藤雅史・小山 弘	80 (1)
第170回: 非対称な夫婦の症状 ▶島 惇・西口 潤・上田剛士	140 (2)
第171回: G? G! ▶田中孝正・藤本卓司	282 (3)
第172回: ヒールの高いキャビンアテンダントにメ ロメロ ▶横江正道・久田敦史・吉見祐輔・末松篤樹・ 宮川 慶・渡邊剛史・飛田 晶・野口善令	410 (4)
第173回: ダッシュできますか!? ▶片岡 祐・川島篤志	560 (5)
第174回: Déjà vu? C'est ma vie! ▶吉田常恭・加賀屋沙永子・酒見英太	706 (6)
第175回: 乗務員さんに注目! それで旅客機が 欠航に!? ▶簗田紗希・石丸裕康・八田和大	856 (7)
第176回: ローマのエクレア ▶海透修子・後藤雅史・井口美季子・奥野芳章・ 小山 弘	1014 (8)
第177回: “D”の意志 ▶高岸勝繁	1162 (9)
第178回: ドクターGの功罪 ▶溝畑宏一・上田剛士	1302 (10)
第179回: テキサスでデラックスを! ▶酒見英太	1460 (11)
第180回: 赤いブラッドオレンジジュースは偽物 ▶横江正道・久田敦史・吉見祐輔・末松篤樹・ 宮川 慶・飛田 晶・野口善令	1610 (12)
Dr.上田剛士のエビデンス実践レクチャー! クスリとリスク	
▶上田剛士	
第10回: 薬剤性肝障害	84 (1)
第11回: 薬剤性肺炎	230 (2)
最終回: 薬剤性血球減少	355 (3)
オール沖縄! カンファレンス	
▶徳田安春 (監修)	
第1回: 汎血球減少症の原因を探せ! ▶池田守登・仲里信彦	91 (1)
第2回: 出産後の発熱・胸痛の原因を追えよ! ▶金城俊一	224 (2)
第3回: 高齢者の初発心不全を追え! ▶木下 聡・島袋祐士・平辻知也	384 (3)
第4回: No Gram Stain, No Diagnosis!! 日 頃のルーチン、この一手! ▶砂川惇司・榎 智佳・本村和久	511 (4)
第5回: 顔が腫れ、手も痛みます! ▶島袋 彰	631 (5)
第6回: 急速に進行する全身痛の原因は何か? ▶篠原正樹	780 (6)
第7回: 真実はいつも1つ! 病歴聴取の大切さを 学ぶ ▶坂口公太・新里 敬	938 (7)

第8回: 入院中にめまい・嘔吐を繰り返した症例 ▶上原圭太・知花なおみ・宮良 忠	1098 (8)
第9回: 頸部痛!? デージナトン! (大変だ!) ▶新里広大・佐々木秀章	1238 (9)
第10回: Horse or Zebra? It's Zorse!—胸痛 の原因を探せ! ▶戸塚大幾・轟 純平	1380 (10)
第11回: 造影剤投与後の呼吸困難、気道を確 保せよ! ▶仲本正哉・銘苅 正	1541 (11)
第12回: 痛い! 明らかな不迷熱 ▶平良翔吾・村山知生	1699 (12)
みるトレ Special	
第1回: 腎盂腎炎疑い、でも尿培養は陰性。 さて、何を考える? ▶笠原 敬	97 (1)
第2回: この喀痰グラム染色、どこに着目する? ▶佐田竜一	235 (2)
第3回: デングっばいけど…… ▶忽那賢志	375 (3)
第4回: 症状は片眼だけ、これってどっちだ? ▶佐田竜一	507 (4)
第5回: 脳膿瘍の穿刺液から髪の毛のような細菌 が……! ▶笠原 敬	647 (5)
第6回: アカリを照らせ! ▶忽那賢志	791 (6)
第7回: コモンディーズなのに二転三転…… ▶佐田竜一	961 (7)
第8回: 春から初夏にかけて呼吸器感染症アウト ブレイク? ▶笠原 敬	1115 (8)
第9回: 「5P」に注目すべし! ▶忽那賢志	1251 (9)
第10回: 熱はないけど、要チュ〜意! ▶佐田竜一	1393 (10)
第11回: 痰のグラム染色では、この菌を見逃すな! ▶笠原 敬	1565 (11)
第12回: ホストがホストに ▶忽那賢志	1685 (12)
西伊豆発! 画像読影道場 これくらい読めても いいんでナイカイ?	
▶仲田和正	
第1回: 「骨折」はどのように起こる?—キュウリで 骨折実験の巻	101 (1)
第2回: 胸部正面像は「頸椎」も見よう!—頸椎編 1	239 (2)
第3回: 体で覚える神経支配—頸椎編2	371 (3)
第4回: 「手は口ほどに物を言う」の巻—内科で役 立つ「手のX線」の読み方	501 (4)
第5回: 「FOOSH! 手について転んだ!」の巻— 上肢編	637 (5)
第6回: あなたの水平線 (horizon) が大きく拡が る!—秘術! 肩の「X線&エコー」をマスターしよう! の巻	785 (6)
第7回: 内科で役立つ「脊椎X線」の読み方—理 屈がわかると画像はおもしろい!の巻	943 (7)
第8回: “大腿骨骨折音頭”を踊ってみよう♪—股 関節のX線の読み方1	1093 (8)

第9回:これだけの知識でこんなにわかる!の巻 —股関節のX線の読み方2	1265 (9)
第10回:「膝」のX線、これだけ知っていれば十 分でナイカイ!	1413 (10)
第11回:「足」の代表的疾患を診断できるよう なろう! 一下腿〜足関節・足趾編	1551 (11)
第12回:「小児」の骨折に強くなるう!—小児の 骨・関節画像の読み方	1679 (12)
I LOVE Urinalysis シンプルだけどディープ な尿検査の世界	
▶上田剛士	
第1回:慢性腎臓病 (CKD) の検出	488 (4)
第2回:その尿蛋白は淡白か? 濃厚か?	642 (5)
第3回:あんな蛋白尿、こんな蛋白尿	802 (6)
第4回:その尿潜血「陽性」は本物か?	934 (7)
第5回:血尿の4大原因とは?	1103 (8)
第6回:「尿の濃さ」を濃厚にみる	1242 (9)
第7回:腎前性腎不全の判断にFENaは万能か?	1403 (10)
第8回:ちゃんと尿のpHをみていますか?	1546 (11)
第9回:尿路感染の起因菌は何か?	1706 (12)
診察で使える! 急性期Point-of-Care超音波 ベーシックス	
▶亀田 徹	
第1回:急性胆嚢炎を疑った時	496 (4)
第2回:腸閉塞を疑った時	660 (5)
第3回:急性虫垂炎を疑った時	815 (6)
第4回:尿路結石を疑った時	954 (7)
第5回:腹部大動脈瘤を疑った時	1108 (8)
第6回:腹腔内出血を疑った時	1246 (9)
第7回:Focused Cardiac Ultrasound (FoCUS)と基本断面の描出	1386 (10)
第8回:左室収縮能低下を疑った時	1574 (11)
第9回:心タンポナーデを疑った時	1720 (12)
こんなときオスラー 超訳『平静の心』	
第1回:オスラーの教え「平静の心」▶平島 修	114 (1)
第2回:「超然の術」と「謙遜の徳」を身につけよ! —「教師と学生」の章より▶徳田安春	254 (2)

第3回:オスラー流!臨床(ベッドサイド)教育— 「病院は大学である」の章より▶山中克郎	360 (3)
第4回:過去を“無意味な現在”に沈めるな!—「本 と人」の章より▶平島 修	522 (4)
第5回:人々の健康を守るために、医師として何 をするか?—「教えることと考えること」の章より ▶徳田安春	657 (5)
第6回:医学は「人類への奉仕」である—「医学 の座右銘」の章より▶山中克郎	828 (6)
第7回:使える知識を持て!—「二十五年後に」の 章より▶平島 修	948 (7)
第8回:医学生は病院で学ぶべきである—「病院 は大学である」の章より▶徳田安春	1134 (8)
第9回:指導医・医学生・ベテラン医師による新 たな病院内教育へのチャレンジ—「教師と学生」 の章より▶山中克郎	1260 (9)
第10回:それは「愛の心(charity)」である—「結 束、平和、ならびに協調(1905年)」の章より ▶平島 修	1426 (10)
第11回:医師にとって“最も重要な資質”とは何 か?—「平静の心」の章より▶徳田安春	1580 (11)
第12回:医師人生をより輝かせるための4つの秘 訣—「生き方」の章より▶山中克郎	1712 (12)
国試にたずねよ	
▶山中克郎	
第1回:“治せる認知症”を見逃すな	119 (1)
第2回:あるあるアルコール・エマージェンシー!	251 (2)
第3回:腫から診るトキシンドローム鑑別診断	368 (3)
第4回:乾癬&関節炎の攻めるH&P	516 (4)
第5回:いろんな意味で「ショック」!	666 (5)
第6回:医者が冷汗をかく「胸痛」	811 (6)
第7回:診断だけでは“片手落ち”	977 (7)
第8回:“失敗(failure)”を知れば、failureなし	1138 (8)
第9回:元気のないお年寄りに出会ったら「いつも 心に〇〇を」	1277 (9)
第10回:「ショック!」再び	1408 (10)
第11回:筋力低下、ありやなしや。	1570 (11)
第12回:コーヒーの香り、わかりますか?	1689 (12)
苦手克服 野獣のリアル勉強法	
第1回:読むのも書くのも苦手な“英語”でまさか の外來診療を!?▶田村謙太郎	122 (1)
第2回:患者は経験に学び、賢者は「勉強会」に 学ぶ▶継 仁	258 (2)
第3回:20年間苦手だった「心音の聴診」が今に なって上達してきたフケ▶小野正博	364 (3)

第4回:離島発! THE 整形内科の学び方 ▶白石吉彦	526 (4)
第5回:町医者が“最先端”であり続けるには? ▶板金 広	679 (5)
第6回:コア・イメージによる直観力鍛錬と、エラー からの学びで診断力をアップする ▶山本 祐	832 (6)
第7回:転勤を機に学び直した、どこにいても自 然と勉強できるスキル ▶遠藤貴士	984 (7)
第8回:「私と推論」—不明熱・不定愁訴のような 診断の難しい症状・疾患をどう診断しているか ▶國松淳和	1124 (8)
第9回:知識・経験不足を打開する「救急総合診 療」の学び方・身につけ方 ▶宇藤 薫	1270 (9)
第10回:すべては患者が教えてくれる 病歴と 身体所見の中の“宝探し” ▶成田 雅	1420 (10)
第11回:医局に属さない教育専任医師として — 炸裂! ジェネラル・マインド普及活動 ▶和足孝之	1584 (11)
第12回:“メンタル”にも強いメンタルを養う方法 ▶久村正樹	1726 (12)
55歳からの家庭医療 明日から地域で働く技 術とエビデンス	
▶藤沼康樹	
第1回:家庭医の臨床診断の技芸—JOY OF DIAGNOSIS	126 (1)
第2回:家庭医外来の構造化1—AGENDA SETTING	263 (2)
第3回:家庭医外来の構造化2—PATIENT PANEL and PRACTICE FLOW	390 (3)
第4回:家庭医外来の構造化3—10 MINUTES CONSULTATION	532 (4)
第5回:家庭医療における「家族」1—FAMILY in FAMILY MEDICINE	674 (5)
第6回:家庭医療における「家族」2— DRAWING FAMILY GENOGRAM	822 (6)
第7回:家庭医療における「家族」3—FAMILY THERAPY in PRIMARY CARE	988 (7)
第8回:家庭医の臨床診断の技芸2— DIAGNOSTIC ERROR in FAMILY MEDICINE	1129 (8)
第9回:家庭医療診療所における「チームワーク」 1—FAMILY MEDICINE and PRIMARY CARE MICROSYSYTEM	1285 (9)
第10回:家庭医療診療所における「チームワーク」 2—DIVERSITY and TEAMWORK	1435 (10)
第11回:家庭医療診療所における「チームワーク」 3—REFLECTION on REFLECTION and TEAMBUILDING	1590 (11)
第12回:診察室から地域への“水路”としての 「社会的処方」1—COMMUNITY BASED MEDICINE and SOCIAL PRESCRIBING	1730 (12)
総合診療専門医(仮)セルフトレーニング問題	
第1回:禁煙を希望している若い女性 ▶喜瀬守人	493 (4)
第2回:紹介状を持って受診した高齢女性 ▶金子 惇	671 (5)

第3回:入院中に下腿痛を訴えた高齢女性 ▶家 研也	806 (6)
第4回:食後に息苦しくなって受診した高校生 ▶北村 大	981 (7)
第5回:嚥下性肺炎で入院になった80代男性 ▶喜瀬守人	1142 (8)
第6回:食事が摂れない94歳、男性 ▶金子 惇	1281 (9)
第7回:胃腸炎症状と過呼吸発作で救急搬送 された22歳女性 ▶家 研也	1430 (10)
第8回:風邪で受診したCOPDで外来通院中 の67歳男性 ▶北村 大	1594 (11)
第9回:糖尿病網膜症の質改善 ▶喜瀬守人	1715 (12)

その他

ゲストライブ

「意思決定」のためのコミュニケーション技術— 日々のshared decision makingの素地 ▶佐々木恭子・本田美和子	547 (5)
InformationからCommunicationへ ▶イヴ・ジネスト	557 (5)
ピバ! 地域医療 諏訪中央病院より愛をこめて。 ▶鎌田 實・山中克郎・奥 知久	691 (6)
「人工知能 vs 診断戦略」を超えて—総合診療 のオーグメンテーションのために ▶武田秀樹・志水太郎	843 (7)
総合診療医のキャリアパス ▶大塚文男・片岡仁美	1002 (8)
医師のためのマインドフルネス—つらいと言えな い? パフォーマンスを高めたい? ▶伊藤絵美	1448 (11)

緊急掲載

いよいよ始まる!「総合診療専門研修」 ▶草場鉄周	1154 (9)
-----------------------------	-------------

Update'17

東日本大震災とプライマリ・ケアの今—不安と PTSD ▶長 純一	1412 (10)
報告『総合診療』リニューアル記念セミナー —「外来診療を劇的に変える 総合診療教育 ライブ!」開催 ▶本誌編集室	1466 (11)

〈投稿〉総合診療外来

心タンポナーゼで発症した結核性心膜炎の1例 ▶谷口賢一郎・乗田浩明・織田良正・中原快明	268 (2)
--	------------

〈投稿〉総合診療病棟

防水スプレー吸入および吸入後の喫煙により急 性肺障害を発症した1例 ▶南 真人・網屋 俊・岩田美恵子・小山田美紀・ 岩屋博道・福岡嘉弘・濱田富志夫・青崎眞一郎・ 徳永公紀・井戸章雄	396 (3)
--	------------

〈投稿〉GM Report

臨床推論/診断エラー学とM&Mカンファレンス の新たな可能性について—Diagnostic Error in Medicine 9th International Conference 参加記 ▶中野航一郎・和足孝之・綿貫 聡	538 (4)
--	------------

第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術総会 インタレストグループ10—地域性の異なる大学 病院総合診療部門による総合診療専門医育成 についての検討 ▶多胡雅毅・古川尚子・大串昭彦・山下秀一	1734 (12)
書評	
『医師の感情—「平静の心」がゆれるとき』 ▶〈評者〉平島 修	112 (1)
『COPDの教科書——呼吸器専門医が教える診 療の鉄則』▶〈評者〉川島篤志	247 (2)
『外来診療ドリル——診断&マネジメント力を鍛 える200問』▶〈評者〉鈴木富雄	382 (3)
『ネルソン小児感染症治療ガイド』 ▶〈評者〉大曲貴夫	446 (4)
『感染対策40の鉄則』▶〈評者〉青木 眞	486 (4)
『死にゆく患者と、どう話すか』 ▶〈評者〉佐藤恵子	654 (5)

『ニッチなディジーズ—あなたがみたことのない 病気を診断するための講義録』 ▶〈評者〉忽那賢志	975 (7)
『日常診療に潜むクスリリスク』 ▶〈評者〉徳田安春	1035 (8)
『超・開業力』▶〈評者〉堀木優志	1123 (8)
『日常診療に潜むクスリリスク 臨床医のための 薬物有害反応の知識』▶〈評者〉山中克郎	1259 (9)
『症候別“見逃してはならない疾患”の除外ポイン ト The診断エラー学』▶〈評者〉小泉俊三	1284 (9)
『てんかんとその境界領域』 ▶〈評者〉浜野晋一郎	1398 (10)
『《ジェネラリストBOOKS》身体診察 免許皆伝 ——目的別フィジカルの取り方 伝授します』 ▶〈評者〉黒川 清	1589 (11)
『《ジェネラリストBOOKS》保護者が納得!小児 外来匠の伝え方』▶〈評者〉五十嵐 隆	1678 (12)